

☆公害による健康被害を許すな!

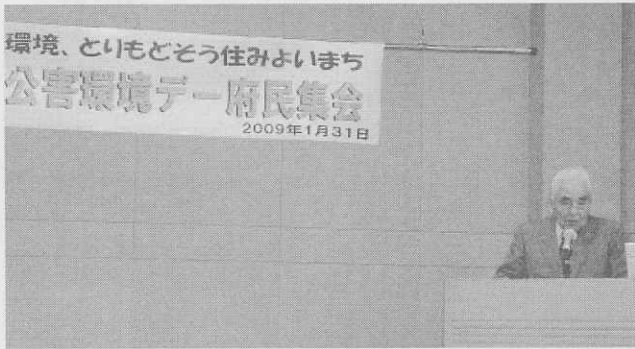
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



モス
画:橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
 大阪市此花区西九条1丁目4-9
 高田ビル 〒554-0012
 TEL 06-6463-8003
 FAX 06-6463-8202
 oskougai@coast.ocn.ne.jp
 発行責任者 芹沢 芳郎
 年間購読料一部2,000円(送料共)
 郵便振替 00910-7-300387



開会挨拶に立った芹沢実行委員長は「EUに加えアメリカの変化、そして12月のCOP15など地球環境問題での世界の流れが大きく変わろうとしている。大阪のこれまでの運動の蓄積を

地球規模で考え、地域で草の根の運動を 第37回公害・環境デー府民集会

1月31日エルおおさか南館5階ホールで開催された第37回府民集会には38団体212人が参加しました。

今年地球環境問題にとって節目の年、大阪から情勢に見合う運動を

活かし、情勢に見合う大きな成果をあげていきましょう」とよびかけました。

韓国から19人の中高生が参加

この間、NO₂の共同測定を取り組んでいる韓国太田のグリーンコリアから19名の訪日団も参加し、「40年来的公害・環境運動を取り組んできた大阪の皆さんの運動を見習い私たちが韓国で運動を続けたい」との中高生の若々しい挨拶におおきな拍手が巻き起こりました。



訴え、東住吉でのNO₂、SPM測定の継続的測定を活かした、街づくり運動の成果の報告は参加者に勇気と共感をあたえました。

民医連のヒートアイランド下での高齢者調査やおおぞらプロジェクトの道路沿道の被害者調査の報告はこれから運動につながるものとして注目されました。

また、関西州導入を「開発推進の新たなシステム」のてこにしようとする橋下

知事の財界いなしの狙いの指摘や、汚染米の現況は国の農政とそれに群がる商社など米ブローカーの「1キロ9円が250円になるぼろ儲け」の結果だとの告発には改めて国・自治体の大企業本位の行政に怒りがおこりました。

地域から声をあげ、国・自治体の政策をかえさせよう — 8つの報告

基調報告に続き8人が報告。寝屋川での廃棄プラスチック処理工場の健康被害の実態と操業差し止め訴訟の現状、泉南アスベスト国賠裁判の現状と原告の

国・自治体への大きな怒り — 6名の参加者が発言

第2京阪道路の開通に伴う環境汚染への危惧、大阪府の公害患者への見舞金の廃止への怒り、後退続く橋下府政の環境行政とトップダウン強化の組織再編の実態、水俣病裁判支援訴え、山にも及ぶ環境汚染の実態、吹田御旅町廃棄物処理工場反対の運動の発言など国・自治体行政への批判が相次ぎました。

「知った、できる、やった」 の運動で来年に向け府民運動のさらなる前進を そして国際連帯活動が アジアに活かされるよう

金谷公害をなくす会副会長は閉会挨拶で「今集会での報告にも示されたように、この一年間地域での地道な運動が取り組まれ、運動が一步前進してきました。来年にむけ、「知った、できる、やった」と学習・交流の成果を生かして運動をすすめていきましょう。アスベスト被害が今後韓国、インドネシアなど日本企業の進出で広がるのが予測されます。国際連帯もアジアの運動に生かされるものにしていきましょう」と結びました。

(次頁最下段に参加者の感想文)